婦人と新社會

山田わか主筆

三月號

大正九年二月二十三日第三種郵便物認可
昭和二年二月二十三日印刷納本

ショーペンハワーとナポレオン

家族制度の生命
——家庭の經濟的基礎——

地方青年男女の一考を促す

社會生活の指標としての群集の行儀

——編輯の後——

毎月一回一日發行　第八十四號　昭和二年三月一日發行

東京婦人と新社會發行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ショーペンハワーとナポレオン

コルシカの小島から身を起して、歐洲を眼下に見下し、フランスの革命すらをも一夜の宴會として食ひ去り、ツイに、帝王となりすまし、英國と露國をにらめていたかたちは實に人間の持つている意志の偉大さを思はずには居られない。

この有樣を目擊した哲學者ショーペンハワーがこの意志を世界と見て、「世界意志論」を書き意志を神にまつりあげたのも無理はない。けれども、その素晴らしい狀態は直ちにくつがへされて遠いセントヘレナから、ナポレオンの絕望の聲をきいた時には「あゝ意志はツイに破れた凡ての戰爭の唯一の勝利者であつた彼をツイに死は征服した」とショーペンハワーを悲しましめ、そして、この事實が彼を悲觀主義に陷らしめたと考へる理由は重々あると思ふ。

併し、これだけでは、別に私共の敎にはならない。最もよくて、これは半面の敎にすぎない。私はこゝから積極的の敎に付て考へたい。即ちこの偉大な意志を健全に育て上げ、健全に各人のうちに働かせたい。意志の敎育を切に思ふものである。

何となれば意志を敎育することが敎育の始めであり終りであると云へるから。

家族制度の生命

――家庭の經濟的基礎――

一

種々の社會問題が論ぜられてゐる今日それ等の社會問題のうちで恐らく最も重大なる、殊に我が國に於ては、特別に重要なる問題、則ち、我が國民の家庭の經濟狀態が無視されてあると云ふことは、實に、奇怪です。

家族員相互の關係、家庭と家庭との關係を無視して、政治問題を論じ、勞働問題、教育問題婦人問題、其の他いろ〳〵の問題を論ずるのは丁度、水分及び肥料の無い處に植物の成長を望んでゐると同じく馬鹿氣たことであります。

近時我が國に於ても社會學の研究は――所謂流行を追ふと云ふ嫌ひが無くはないが――相當に盛んになつてゐるにも拘はらず、家庭に對する研究にはまだ手がつけられてゐないと云ふ實情であります。

勿論、社會學者のうちには、社會の單位は家庭ではなく、個人であると主張する者があるけれども、併し、個人と云ふ社會事實よりも家庭と云ふ社會事實の方が一層重要であると云ふ事は、生物學的にも心理學的にも政治學的にも殊に倫理學的に充分に立證されてあります。

又、家庭に關する言說が無いとは云つても、勿論、斷片的にはいろ〳〵の意見があることは認めてゐます。が、徹底的な基礎的な意見が無いと私は云ふのです。

そして、その、家庭を無視して個人に重きを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

置く傾向は、個人主義を生命とする共産主義や露國の勞農主義の感化を受けてゐるのであつて其れが我が國體の基礎なる且つ近代社會科學が擁護する家庭制度を無視し、乃至は、卑下し、引いては、これを破壞しようとする傾向となつてゐるのです。近代の社會主義的思想の傾向が我が國の家族制度に對する一種の陰謀の歴史的研究は他の機會にゆずるとして、今、此處では其の結果の家庭の經濟的狀態に付て少しく考へて見たいと思ひます。

二

一般的にも、詳細的にも、資本と勞働、純益と賃銀、生産と分配、個人的及び集合的企業と云つたような事柄は、經濟學者、政治家、産業家、及び、新聞記者等によつて絶へず論じられてゐる問題です。

又、庭家の問題も絶へず論議されてはあつても、其れは帝國主義者の立場から人口の問題として論じられたり、優生學者の立場から所謂優良國民を造る場所として、衛生上の立場から家屋の問題となつたり、或ひは、又、子供の幸福が問題になつたりしてゐます。

けれども、經濟的單位としての家庭に付いては、則ち、國民にとつて、乃至、國家にとつて無くてならないものとしての家庭の價値を基礎として、國の物資の分け前を當然受くべきものとしての家庭に付いては殆んど誰も考へてゐないようです。

個人主義を基礎とする西洋諸國に於てゞすらあの大戰爭の結果、亂れた社會狀態にかんがみて、社會改造にとりかゝるに當つて、最も急務とされてゐるものは、健全な家庭の建設と云ふことです。そして、生活賃銀だとか、最少限度生活標準の賃銀法だとか、母の年金の設定だとか云ふやうなことによつて、國民の家庭生活の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

安全を計らうとしてゐます。

そして、我が國に於ても、しきりに、其れ等の施設を眞似ようとしてゐるのでありますが、併し、西洋に始まり、そして、西洋では既でにすたりかゝつてゐる個人主義的の其れ等の施設を今更眞似る必要はありません。

最少限度賃銀法も、母子扶助法も結構ではありますが、併し、それ等は單なる局部治療と云ふ觀があります。

私は、さう云ふものだけでは滿足できません

今迄の婦人問題は、勞働問題と同じく、個人主義の立場から、個人としての經濟の獨立を目標としてゐたのでありますから、男も女も子供も金に換算出來る仕事をしなければ生活が立たなくなつてゐます。

そして、家庭は經濟的に精神的に統一ある國の基礎としての單位ではなく、合宿所とならうとしました。ですから、さう云ふような個人的にではなく、婦人の婦人としての使命が認められて、家庭の經濟的基礎が確立することによつて、婦人は婦人としての使命に盡すことが出來子供は未來の國家を背負ふに足りる資格を造ることに專心になることが出來ます。

我が國は、祖先傳來の家族制度を世界に誇つてゐます。

けれども、今日の我が國の產業界、官界其の他凡ての方面、則ち、我が國全般に渡つて西洋の賃銀制度と同じく、夫であり父である男子の勞働に對して、彼一人の資格でしか賃銀を拂つて居りません。男子の賃銀が彼の妻子の生活に充分であらうが無からうが支拂ふ方では全く無關心です。

國家から見て、我が家族制度が世界に誇り得る善制度であるならば、其の內容なる家庭は經濟的に鞏固でなければなりますまい。

然るに、我が國の產業界、商工業界、官界、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

其の他一般は家族制度を無視してゐる結果、其の內容たる家庭の家族員の生活を考へず、父であり夫である男子一人を單位として、彼一人の標準の賃銀しか拂つて居ないのです。

三

勞働問題の首領達は常に勞銀の增加を要求して止まないにも拘はらず、家庭の經濟的單位と云ふ點に氣付いてゐないようです。家庭の經濟的單位が確立することによつて、大體の賃銀問題は、少なくても、賃銀の標準は確立されることになるのですが。

勿論、西洋に於ては、家庭の必要を基礎とした生活賃銀の運動が起りました。そして、多くの場合各ひ成功してゐます。其れと似よつた最少限度賃銀法の如きは、多くの場合既でに確立されてゐます。

けれどもそれ等の賃銀法は決して私に滿足を與へては居りません。と云ふのは、かれ等の賃銀法は、唯、家族を有りのまゝに見て、そして家族則ち妻子を稼人なる夫であり、父である男子の從屬者と見て、妻並びに子供の現在及び將來の社會に對する價値として考へて居りません働き人を除けば、他は皆寄生虫視され、從つて充分なる生活費は無いのです。

つまり、妻子は稼人のための慰安物であり稼人が脫線しないためのクサビであるかのやうに考へて居るのです。故に、賃銀を支拂ふ方では稼人の生活費に妻子の生活費を加へて支拂つても、そして、稼人が妻子の生活費までも自分一個の滿足を滿たすために消費してしまつても、誰も何んとも云ふことが出來ません。

家庭本位の賃銀でない以上は、彼の賃銀は彼自身に對する報酬でありますから、其れを彼がどう云ふ風に使用しようと他人の容喙を全然許さないのも當然です。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四

經濟的見地からばかりでなく、如何なる他の見地から考へても、凡ての制度中で、家族制度程社會に密着な關係ある制度はありません。家庭と云ふ内容を持つた家族制度は、凡て外の制度のための手段として無くてならないものであり、又、或る意味に於ては、家庭は目的それ自身です」

家庭を取り巻いてゐる宗教乃至道德其の他あらゆる色彩を家庭から洗ひ落して見ても、猶其處に、考へる餘地も、爭ふ餘地もない事實が殘つてゐます。そして、其の事實とは子供を生み育てるといふ仕事であつて、此の仕事は國民の凡ての仕事のうちで最も必要な仕事です。

もし、此の仕事が止んでしまつたならば、世界は百年、否、五十年も經過しないうちに荒野になつてしまうでせう。ですから、此の仕事が不安定に、貧弱に營まれることによつて、國民は不安定で、貧弱です。戰時の場合に、不完全な貧弱な人口から優秀な軍勢を編成すると云ふことは不可能です。平時に於ては、不完全な經營と貧弱な勞働力より外は持つことができません。

これに反して、此の仕事が、たとへ、完全ではなくとも、少なくとも、安定ある基礎の上に營なまれるならば、平安のうちに生れて豐かに養はれて、そして、それが國民の知力的の餘裕物質的の繁榮、生産率の高い能力となります。

五

家庭生活の幸福と云ふものが、全體としての社會に如何に密着な關係があるかと云ふとが一般に認められるならば、家庭維持の問題は、唯一人の親にのみ任せて置いて、社會が平氣で居てはなりません。と云つて、社會並びに資本家

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が、唯、時々、子供を持つ勞働者に慈善を施したり、正月に貧乏人に餅をくばるやうな手ぬるいことをしてゐて、そして、平生は彼等の子弟が教育を受けてゐやうが居まいが、どんな不衞生な狀態にあらうが見て見ぬ振りをして居てはならないのです。

無產階級の妻子の問題を政府も資本家も見て見ぬ振りをして居ると云ふのは、其れを正視すれば、大なる支出の問題がからまつて來るからでありませう。全體の人口の半分以上が妻子であると云ふことを思ふにつけ、果して、其れに對する支出の用意があるがどうかと云ふことを政府並びに資本家は考へるでありませう。つまり、それには莫大なる富源がなければ處置出來ないように考へるでありませう。

けれども、最少限度賃金法は、一家の必要を基礎として設定されてあつて、そして、これは勞働者に妻子があつても無くても同じように支能拂はれてあるものであり、そして、其れが不可能でないと云ふことは各國の實例によつても明らかです。

處で、此の賃銀法は、前にも云つた通り、妻子と云ふものを稼人の道具乃至裝飾品或ひは又寄生虫として解釋してゐるものです。

六

私が此處に主張する要點は、現在に於て賃銀を取つてゐる父であり夫である稼人よりも、より優秀な稼人を、國民產業に將來參加させる豫備兵を準備するために働いてゐる妻の仕事を認めよと云ふことです。

最少限度賃銀法の場合ひは、名目は家族のために餘分の賃銀を受け取つても、勞働者自身の自己滿足のために消費されてしまうかも知れない。又、獨身者は無意味に無駄に消費してしまうかもしれない。

故に、未來の優秀な働き人を養成しつゝある妻に對して支拂ふならば、其の支拂の目的は確實に實現されてそして、其れに對する國庫の乃至資本家の支出は利益は生むとも決して損失にはなりません。前の場合には消へてしまうかも知れないものが、此の場合には生きて活用されるのです。

かくの如くに、家庭の經濟的基礎が確立された時に、名實のとゝのつた家族制度が生れるので、此の家族制度こそ二千有餘年の背景を持つて、其の美を世界に誇ると同時に、我が日本國民の眞の充實を期することが出來ると私は信ずる者であります。

どんなに家族制度をほめたゝへても、其の家族制度に經濟的基礎がなかつたならば、其れは有名無實です。經濟的基礎が無かつたならば、いはゞ、朽ちた土臺の上に家屋を支へて置かうとするのと同じで危險此の上も無いことです。

ですから、家族制度を國家の生命とする以上は、給料は個人本位でなく、家庭本位でなければなりません。が、さうするに付ては、又考へなければならないことがいろ〳〵ありますが、とにかく、未來の創造者であり保護者である母の生活並びに未來の國家を背負つて立つ子供の生活が男子の賃銀法のうちに當然充分に顧慮されねばならぬこと、並びに、此の新しい賃銀法と相待つて、我が政府は陸軍省乃至海軍省と同じ一省を、則ち、母と子の生活の安定、家族制度の經濟的基礎の維持を目的とする一省を設けねばならぬことを私は將來に望んでゐます。

> 普通一般の人間性は神によりは動物に近い大多數の人間は生れながらに愚鈍である。如何なる政體の下にも彼等はどん底に沈む運命を持つてゐる。故に、國家經濟で彼等を救濟しようとすることはザルに水である。(アリストートル)

地方青年男女の一考を促す

一

時が進むに從つて世の中にはいろ〳〵の變化が起ると云ふことは誰でも承知して居ることでありますが、其の變化のうちでも最も目立つものは經濟上の變化と政治上の變化でありませう。一言で言へば、其れは社會制度の變化であります。

處で、社會制度の變化となつて具體的に現れる前には必ず其の準備がなければなりませんが、一體、其の準備は誰がするのでありませうか？普通一般には、其れは社會の表面に立つてゐる指導者だと云ふかも知れません。そして、其の指導者の背後には知力的の指導者則ち學者が居ると云ふのでせう。たとへば選擧權擴張の結果の社會變化を起したものは學者であると考へられてゐるかも知れません。

併し、私はさうは思ひません。如何なる社會變化も其れを實際に起すものは學者でもなく、知者でもなく指導者でもなく、實に、民衆自身であると私は考へてゐます。けれども、民衆ならどんな民衆でも皆變化を起すものかと問はれるなら、さうではないと答へなければなりません。

それならば、どんな場合に民衆が變化を起すかと云ふと、其れは、民衆自身の利益と自己保存の本能が自ら一致して勢力を得た時であります。

尤も、此の民衆の利益と生存本能を目覺めさせるものは、やはり、學者や指導者や又は新聞や雜誌であるに相違ありません。ですから、民衆自覺の導火線となる言論及び言論機關が健全なものならば健全な社會變化が起り、其れ等が不健全で破壞的であるならば、社會變化も亦不健全で破壞的になるのは當然です。

今日の我が國の農村は最早從來の姿を續けてゐることは出來なくなつてゐます、農村民衆の利益と生存本能とは、既でに、所謂指導者なるもの丶主張や宣傳にも充分に刺戟されて、そして、其の結果、變化が起らうとしてゐます。そして、其の變化の方向は二ッあつて、其の一ッは農村改造であります。則ち、小作法の改善や農村青年男女教化の企てゞあり、もう一ッの方は青年男女が農村を捨てゝ、ぞく／＼と都へ出て來ることであります。

此處に於て、私共は、こう云ふ變化の結果が直接には青年男女自身のために、間接には我が國全體のために、どう云ふことになるかを今にして眞劍に考へて見なければならないと思ひます。

農村に於て、今、起りつゝある變化は、現代の文明國に於て活動して止まない進化の力の一ッであるに相違ありません。併しながら、農村から都會へ青年男女を惹きつける此の進化の力は、實に、今日の我が國にとつては由々しき一大問題であります。

大體に付て云ふと、農村を捨てゝ都會に出ようとする青年男女は有意な、心身共に比較的優秀な者であります。それに反して、農村に止まつてゐる者は例外は別として比較的劣等な心身の持主であります。

有意な青年男女が農村を捨てゝ、都會に出ようとする心持ちは同情に價ひするものがあります。慢性的な不景氣は今日の農村の癌であります。米が澤山穫れゝば賣らうとしても安い。米の價が高いと思へば賣らうとする米が無い。豊作を心から喜ぶことの出來ない悲慘た農夫の心情は、感じ易い青年男女の骨髓にまでも徹してゐるに相違ありません。

以前の農夫は我が國の背骨でありました。そして、多くの國家的指導者を農村から出してゐました。農村の生活狀態がゆたかであれば、優秀な青年男女が農村に滿足して踏み止まつてゐて自他の利益の增進となるのですが、併し、今日の農村は決して彼等を滿足せしむるものではなくなつてゐます。

田舍に止まつて、食うや食はずの悲慘な生活に一生

を終るよりも、都會に出て一旗發と彼等が考へるのも又、無理はないでせう。

三

或る米國人が八百八十五人の科學者を研究して見ました。そして、それ等の科學者の出所を調べて統計をとつて見ると、農家からの一に對する工業家及び商家からの二、二と知的職業家からの二九と云ふ比例が現れました。生れながらの差もあるとは云へ、併し、知能の發達のためには農村と都會との差が如何に大きいかを其れは明らかに證明してゐます。又、一九二二年から二三年までの紳士錄のうちにある一萬八千四百人を統計にとつて見ると農村の一に對する都會の一〇、九と云ふ比例になつてゐます。

社會學者のウオードも、亦、好機會と刺戟を與へて内部に潜んでゐる天才を發揮させるためには大都會さ云ふ環境が重要であると云ふようなことを力說してゐます。

ですから、地方の青年男女が、都會は出世し唯一の

場所であると云ふように考へるのも無理のない處です。

けれども、此處に注意しなければならないことは、一人の成功者の裏面には無數の不成功者があると云ふこと〻、大都會は向上の機會があると同時に、猶、それよりも大きな墮落の機會も網を張つて待つてゐると云ふことであります。それから、又、成功者の名ばかり出てゐて不成功者の名は現はれてゐないと云ふことも忘れてならない點であります。

四

有意な青年男女が地方から都會にあつまることによつて、そして、都會に於て家庭を持つ結果、都會人の健康は維持出來る。都會人同志の結婚が三代續けば肉體的には非常に虛弱になつてしまうが、地方生れの强健な血が混入されることによつて都會人は其の衰退から救はれると云ふことは久しい前から聞いてゐますが實に、都會本位に考へたならば其れでも不都合はないかも知れません。事實が其處で終れば地方の青年男女がぞく〳〵都會に出て來るからさ云つて何にも心配は

ありません。けれども、事實は此處で止まつてゐない。又、我が國は都會のみによつて立つてゐるものでないと云ふことも誰でもが承知して居る處です。

そして、優秀な青年男女が都會にあつまつて來ると云ふことは、都會が農村から其れだけの優秀な青年男女を奪つて來たことになり、其れだけ農村の損失となる。そして、これが今日の我が國に於ける焦眉の重大問題であります。

今日の我が農村が必要とする處のものは、建設的な組織的な指導者であります。法律の改正も資金も必要であるには相違ないが、猶、それよりも必要なものは有力な指導者であります。そして、其の指導者は、鍬を握つたこともない白い手のぢかに土を踏んだことのない指導者であつてはなりません。又、自國の狀態を無視して西洋を摸倣する直譯者であつてもなりません。農村の指導者は、ぢかに土を踏み常に鍬を握つてゐた云ひかへれば、其の土地に實際の經驗を持つてゐるもので無ければなりません。

けれども、優秀な人間が都會へ出てしまつて、劣等な人間ばかりが農村に殘つてゐる以上は、其の土地についた有益な指導者は永久に現れません。其の土地についた堂々として動かないしつかりした指導者が無い結果は、建設することを知らない、不健全な破壞的な思想を持つた僞せ指導者が農村をひツかき廻すことになります。此の破壞的と云ふことは革命的と云ふことであることを此處に付け加へて置きます。

そして、これは農村自身のため並びに國全體のために危險千萬であります。

五

これを人種的の立場から見ても、此處に一ツの重大なる結果が現れます。生理的にも精神的にも健康な、そして奮鬪的な青年男女は、其の有益な性質を子供に殘す可能性を持つてゐます。けれども、都會に出て、奮鬪的生活を長く續ける結果は多くの場合ひ生む子供の數は極く少ない。故に、地方の有意な青年が都會に出て來て、彼一代で消へてしまはないまでも彼の優秀な性質を受け繼いだ子供の數は至つて少ないに反して

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

彼よりもより劣等な地方に止まつてゐる青年は澤山の子供を持ちます。かくして、人口の望ましい性質は減じて、望ましからざる性質が益々增加して行きます。

　都會人となれば、先づ通常は全然子供を持たないか又、持つても其の數が極く少ないに反して、農村に居る人で子供が無かつたり又は少なかつたりするのは殆んど例外と云つてもよい位ひのものです。

　地方から都會へ出た當時はどうであれ、年月が經過すゝに從つて、彼等はどん／＼弱くなり子供も出來なくなると云ふことは、都會人が常に地方人にとつて代はられてゐると云ふ事實が證明してゐます。

　要するに、農村階級から優秀な能力者を失ふことは殊に、今日の場合ひ、我が農村のため引ひては國家のため決してゆるがせにならない問題です。都會の生理的要求を强健にするさ云ふ利益はあつても、併し、農村が失ふ損失の重大さを私共は考へなければならないのです。

　地方の優秀な青年男女が都會へ出て、最高學府に學んださか、又は、商業工業に於て成功したとか云ふことは、大成功である最も望ましいことであると人も許し自分も許してゐて疑はないが、併し、國家的の乃至人種的の立場から見れば、其れは獅子身中の虫ではないかと云ふことを、私は、此處に力說したいと思ひます。

　今日の我が國の最大急務は農村の復活であります。農村の復活、農村の進步は月並みな言葉ですが、一ツにかゝつて農村の有意な青年男女の双肩にかゝつてゐます。ですから、彼等が農民階級から脫して他の階級に這入つて行くならば、我が農村は永久に復活することは出來ません。進步することは出來ません、

　有意な青年男女が農民階級のうちに踏み止まつて農民階級の利益のために政治的に經濟的に活路を求めることによつて、農民階級の曙光は現れて來ると云ふものです。そして、農村改善の第一着は農民階級を生理的に墮落させないことであります。云ひかへれば、優秀な農村青年男女が他の階級との結婚を避け、農村に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

於て彼等の運命を開拓することが彼等の最高な使命であり、同時に、目下の我が國の危急を救ふものであります。

七

つまり、私は農村の青年男女を都會へ追ひやることの代りに農村改造説を主張するものであります。國の有力者が農村問題に彼等の注意を向けるように私は要求すると同時に、地方青年男女に農村に踏み止まつてゐるように希望します。新時代人としての成功は、徒らに、最高學府を出たり、又は、巨萬の金を積むことではないと私は信じます。舊時代の人間にとつてはさう云ふことが最高な成功でありましたけれども、私達現代の第四階級の人間は第四階級者としての生活を充分に發揮することだと思ひます。第四階級、則ち、プロレタリアの精神に付ては前號に書いて置きました。

社會生活の指標としての群衆の行儀

山田猪吉氏が歐洲旅行中の話の一ツですが、ジエネヴへ行つた時に、ジエネヴの郊外に於て、輕氣球の飛揚競爭があつて、數十、否、百ぐらいの輕氣球が飛揚されるのでその人氣は大したもの、素晴らしい群集がその飛揚場を取卷いたが、輕氣球の組立てをする場所と見物人の居る場所との境には單に一本のなはが引いてあるだけで、一人の巡査も其處には居ないに拘らすそのなはには觸れる人さへも無い程群集は整然としていたと云うことです。

先日の御大葬の場合のように其處には何等の戰術な意義はない、いはゞ娯樂氣分ばかりであつたのにも拘らず、押しも押されもするようなことは斷じてなく、そして、いよ〳〵飛揚競爭が終つて歸途についても大聲を發する人一人なく、フザケル者もなく、乘合自動

車には定員以上に乘らうとする人は一人もなく、實に、その紳士淑女的な態度には恐れ入つたと云つています

缺點をあげればいくらもあるとしても、この社會生活の指標としての群集の行儀と云う點に付いては我は彼に劣ること到底比較さへもできません。一世一代のうちで最も嚴肅にしなければならない御大葬を奉送する群衆のあの行儀は何と云う恥しさであるでせう。自己の目前の慾望を滿たすためには、他人の迷惑處ではない、生命を危ふしてもかへりみない非社會的な此の民衆が普選と云う大きな機械を運轉するに當つて被害者のあまり多くないことを祈らずには居られません。

編輯の後

可愛い盛りの三ツになる子を亡つた兩親が人に悔みを云はれる度毎に悲歎の涙にくれながら「短い壽命しか持つて生れて來なかつたのですから仕方がありません」と云う口の下から「もつと早く手當てをすればよかつたのですが日頃丈夫な子だつたので始め風をひいた時にツイ氣にもかけずに居たので手後れになりました」と云ひます。一體、この夫婦は「愛兒の死を天命と思つているのかそれとも自分達の手落ちと思つているのか分らないぢやないか？」と人はすぐに質問するでせう。併しその分らないのが人生であるかも知れません。他人の目から見れば日頃丈夫な兒が不圖死れば、それは兩親の手落ちであつたと云うにきまつています。又、多くの場合さうであるに相違ありません。

が、悲しい、苦しい、淋しい氣持ちのやり場を自責にばかり持つて行くことは耐へられない。それで、ともすれば、神秘の世界へその氣持ちを投げ入れて一時の氣ぬきをしようとするのです。矛盾は人生であるとシミジミ考へさせられます。

本誌臨時定價表

一册	金十錢	送料五厘
六册	前金五十五錢	（送料共）
十二册	前金壹圓	（送料共）

▼誌代及郵税は前金の事▼御送金の際は振替貯金東京五三六八八番に御拂込みのこと▼割引郵券代用は五厘切手にて一割増▼廣告は御照會次第御相談いたします

昭和二年二月廿三日印刷納本
昭和二年三月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉

東京市牛込區山吹町一九八
印刷人　大杉直次郎

東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會
振替東京五三六八八番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN